

## 情 報

### テーマ21：平成16年11月24日

#### リップサポートが顔貌に及ぼす影響

歯科技工士学科専攻科 生体技工専攻 5 回生

塩田 孟紀

患者さんは81歳女性の上下無歯顎で、口唇付近にはりが欲しいとの要望から、義歯新製を希望していた。リップサポート量が不適切と考えられたことから、咬合床に旧義歯の寸法を引用して適切なリップサポート量を決定した。前歯部排列後の試適時においても、旧義歯を比較対象として良好な結果が得られたので次工程に移行し完成となり、患者さんの満足を得ることができた。

本症例を通して患者さんと直接お話することにより、要望や悩んでいる点を義歯製作に反映することができた。何より、患者さんに喜んで頂いたことが一番だと考え、今後も積極的に義歯調整に参加して経過を追う予定である。

### テーマ22：平成17年2月28日

阿部雅子担当予定

### テーマ23：平成17年2月28日

塩田孟紀担当予定

### テーマ24：平成17年3月7日

本田岳史担当

### テーマ25：平成17年3月7日

松本崇臣担当

## 歯科衛生士学科抄読会報告

歯科衛生士学科教員の自己研修を目的として、平成15年9月より抄読会を開始し、平成16年11月までで通算12回開催した。毎月第3水曜の午後6時より、2名の演者で発表してきた。

本抄読会の目的は次のとおりである。①他者の論文を注意深く批判的に読む習慣をつける。②世界の中で、その論文の位置づけを知る。③教科書の水準を越える。④独善を排する。

参加者は歯科医師、歯科衛生士、言語聴覚士の教職員で、発表内容は演者の研究分野や興味あるテーマである。歯科衛生士にとっては保健・医療・福祉分野の文

献を読む機会が多くなり、最新情報を知るうえで大変効果的であることから、今後も継続していきたい。

(文責 江川広子 講師 歯科衛生士学科)

### 第1回：2003年9月17日（水）

○福島 祥紘教授

『ブラーク細菌のバイオフィルム形成過程』

奥田克爾（東京歯科大学微生物学講座教授）：最新口腔微生物学，一世出版，2003

『口腔内バイオフィルム感染症の特徴』

奥田克爾（東京歯科大学微生物学講座教授）：日本顎咬合学会誌，23，2：132-139，2003

### 第2回：2003年10月15日（水）

○平澤 明美講師

『これだけは知っておきたい"キシリトール"』

福田雅臣（日本歯科大学歯学部大学院 日本歯科大学歯学部衛生学講座助教授）：デンタルハイジーン，通巻245号 Vol.23，6：523-529，2003

『フノリ抽出物と第2リン酸カルシウムを配合しキシリトールチューインガムの実験的初期う蝕エナメル質に及ぼす再石灰化促進効果』

佐伯洋二（ロッテ中央研究所基礎研究部素材開発研究室）：歯科基礎医学会雑誌，第42巻 6：590-600，2000

### 第3回：2003年11月19日（水）

○江川 広子講師

『介護予防としての口腔ケアの重要性 ―その意識とチームのありかた―』

米山武義（日本歯科大学歯学部卒，米山歯科クリニック院長）：月刊総合ケア雑誌，13，9：6-11，2003

『介護予防における歯科衛生士の役割』

足立三枝子（東京歯科大学歯科衛生士専門学校卒，府中市民医療センター）：月刊総合ケア雑誌，13，9：6-11，2003

○山田 隆文助教授

『歯科臨床とアレルギー』

中村正明 他（大阪歯科大学教授）：日本歯科医学会誌，18，64-74，1999

### 第4回：2003年12月17日（水）

○金子 潤助教授

『デキストラナーゼ配合チューインガムの歯垢付着に与える影響』

高水正明 他（鶴見大学歯学部第一歯科保存学教室）：日本歯科保存学雑誌，46巻 5：595-603，2003。

## 情 報

○福島 祥紘教授

『若者との相談』

久野 信：「子育ての風景画」，カトリック新聞

第5回：2004年3月17日（水）

○小黒 章教授

座談会：歯科助手への今後の対応

第6回：2004年4月21日（水）

○渡辺 美幸助手

『音波ブラシの効果』

新田浩（東京医科歯科大学大学院歯周病学分野）：歯科衛生士雑誌，Vol.26, 4：14-19, 2002

○大平 芳則講師

『DPOAEを用いた新生児聴覚スクリーニングの検討』

高橋真理子 他（名古屋市立大学耳鼻咽喉科）：Audiology Japan, 45：82-88, 2002

『新生児聴覚スクリーニングの問題点と今後の課題—保護者へのアンケート調査による検討—』

森田訓子 他（帝京大学医学部耳鼻咽喉科）：Audiology Japan, 47：49-55, 2004

第7回：2004年5月19日（水）

○石崎 愛助手

『新素材歯面研磨ペースト「ピュアテクト」の清掃効果』

森川 公博（森川歯科クリニック院長）：歯界展望，Vol.102, 6：1299-1305, 2003

○福島 祥紘教授

『人はなぜガンになるのか 発ガン仮説の最前線』

日経サイエンス，10月，2003

第8回：2004年6月16日（水）

○平澤 明美講師

『リン酸化オリゴ糖カルシウム配合ガム「ポスカム」の再石灰化促進効果』

稲葉大輔 他（岩手医科大学歯学部予防歯科学講座助教授）：Dental Monthly Report, No.207, 2003

○金子 潤助教授

『歯科衛生士教育機関における診療補助実習（第1報）仮封について』

吉田 隆 他（埼玉県立大学短期大学部歯科衛生学科）：日本歯科保存学雑誌，45巻 5：872-878, 2002

『歯科衛生士教育機関における診療補助実習 第2報 根管処置における診療補助実習について』

吉田 隆 他（埼玉県立大学短期大学部歯科衛生

学科）：日本歯科保存学雑誌，47巻 1：147-153, 2004

第9回：2004年7月21日（水）

○山田 隆文教授

『健康な心と身体は口腔から—歯科医療におけるコミュニケーション再考—』

佐伯晴子（東京SP：Simulated Patient研究会）：模擬患者あるいは一般から見た歯科医療とコミュニケーション 日本歯科医学会誌，23：8-12, 2004

○福島 祥紘教授

『歯周病と遺伝子多型に関する論文に基づくシステマティックレビュー』

湯浅秀道 他（東海産業医療団中央病院歯科口腔外科）：日本歯周病学会雑誌，45巻 2：150-162, 2003

『歯周メンテナンス患者の根面カリエス発生におよぼす因子の解明』

加藤まり 他（日本歯科大学新潟歯学部歯周治療学教室）：日本歯周病学会雑誌，43巻 3：308-316, 2001

第10回：2004年9月15日（水）

○本間 和代助教授

『自立生活高齢者と要介護高齢者の口腔微生物叢の比較』

高田 将成（日本歯科大学歯学部衛生学講座）：口腔衛生学会雑誌，54巻 178-188, 2004

○小黒 章教授

『NaF INDUCES EARLY DIFFERENTIATION OF MURINE BONE MARROW CELLS ALONG THE GRANULOCYTIC PATHWAY BUT NOT THE MONOCYTIC OR PREOSTEOCLASTIC PATHWAY IN VITRO』

Akira OGURO : Tomoyuki KAWASE (Division of Cellular Pharmacology, Department of Signal Transduction Research, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University), Michiaki ORIKASA (Niigata University School of Medicine) In Vitro Cell. Dev. Biol. - Animal 39：243-248, 2003

第11回：2004年10月20日（水）

○江川 広子講師

『介護保険施設と歯科医療施設の連携による口腔機能改善への取り組みとその評価』

南 温 他（岐阜県郡上市国保和良歯科診療所）：

---

**情 報**

---

口腔ケアリハビリテーション 老年歯科医学会雑誌, Vol.19, 1: 25-32, 2004

『摂食機能療法のシステム化における口腔機能訓練』

永長周一郎（東京都リハビリテーション病院）：  
うまく食べられないことへの対応 歯界展望,  
Vol.102, 1: 194-199, 2003

○福島 祥紘教授

『日本歯科衛生学会（仮説）設立準備過程について』

第12回：2004年11月17日（水）

○和田 麻衣子捕手

『タバコと歯周疾患の関係』

青山 旬（国立公衆衛生院疫学部）：歯界展望,  
Vol.94, 4: 771-778, 1999

○大平 芳則講師

『12ヶ月未満の難聴児の早期療育効果について』

内山勉 他（富士見台聴こえとことばの教室）：  
音声言語医学雑誌, 45: 198-205, 2004